

高品質米への重要ポイント

出穂期以降の登熟期間の高温により、白未熟粒・胴割粒の発生等が見られます。
以下の対策を行い高品質米の収穫に繋げましょう!!

- こまめな入水で地温を低下させ、健全な登熟を維持。
- 胴割れ防止のため、早期落水をせず収穫間際まで水管理を行う。
- 米粒は開花後3週間かけて厚くなるため、間断かんがいを行うことで玄米の粒厚を向上。

出穂後の湛水管理も継続実施して下さい!!

幼穂形成期(7月上旬頃)以降は、カドミウム吸収抑制が活発となる出穂前後各3週間は湛水管理とします。

湛水管理の目安と抑制効果



管理上の注意点

水深5cmを目安に入水
減水深1cm/日なら3日に1回入水



ムダ水
かけ流しは×

家庭菜園や専業農家の方へ病虫害防除や雑草等の営農情報は
「農業電子図書」端末をご活用下さい。



JA版電子図書館は各支店・
経済センターに設置しています
職員にお気軽にお声掛けください!



他にもいろんな
情報が満載!

- 生産の情報
- 暮らしの情報
- お天気

ぜひ使って
みてください!

より詳しい営農相談・新規就農相談については、
各地域担当の営農指導員が営農サポートさせていただきます。

相談窓口 ☎0749-63-2101 営農企画課 まで。